

備前市施策評価シート

施策名 (小項目)	し尿処理	コード	作成者	役職	環境課長
		01-01-15	森本和成	氏名	森本和成
				電話	0869-64-1821・1822
				このシート作成に要した時間	2.0 時間

この施策の アピール ポイント	この施策は、止めることができないライフラインに匹敵する施策である。全市民が日常的に必要な施策である。今後も継続して、市民に支障を起こさないように努める。
-----------------------	--

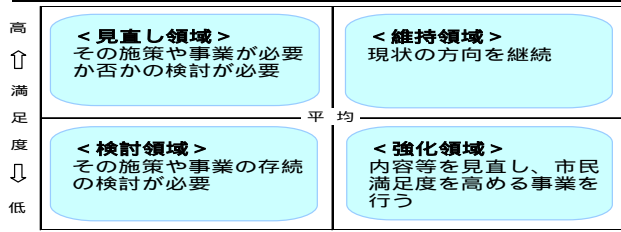
この施策の 平成24年度の 施政方針	し尿処理についてであります。衛生センターの老朽化が進んでおり、汚泥再生処理センターとして施設の更新を行うため、基本計画の策定や生活環境影響調査等を行っております。今後、基本計画に基づき、施設整備の実施計画の策定を行うとともに、必要最小限の補修を行いながら、適正な維持管理に努めてまいります。
--------------------------	---

<備前市総合計画の内容から記載する>

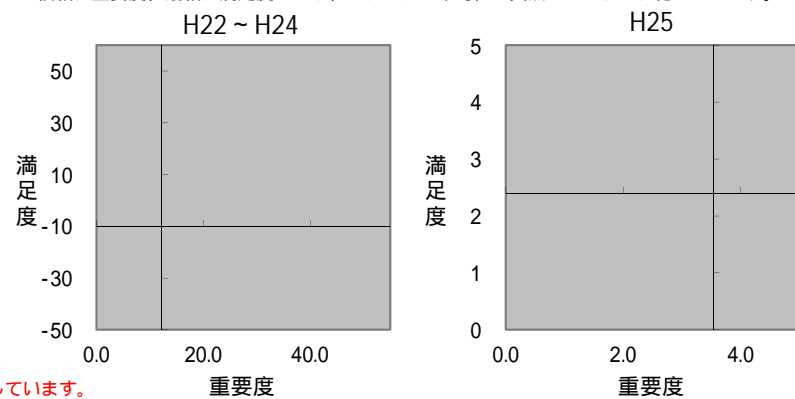
① 政策の体系	基本目標 (大項目)	01安全で快適に暮らせるまちづくり
	基本施策 (中項目)	01生活しやすいまちづくり
② 対象と目的 (誰のために、何のために)	し尿・浄化槽汚泥処理が必要な市民・市内事業者のために、許可業者が収集したし尿を効率的に処理することにより、生活環境の保全につなげる。	
③ 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	下水道整備の普及に伴い、全体的な処理量が減少しているとともに、浄化槽汚泥の投入比率の増加等により処理対象物が希薄化しており、効率的な処理方法を検討する必要がある。また、施設の老朽化への対応策も必要である。	
④ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> し尿処理施設の検討 2001/1/15 	

⑤ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H22	H23	H24	H25
重要度 (%)				
満足度 (%)				



横軸に重要度、縦軸に満足度をとり、それぞれの平均値を交点としてグラフ化しています。



H25から数値の採取方法を変更したため、別グラフで表示しています。

調査結果に対するコメント、市民の反応等	下水道整備の普及に伴い処理量は減少しているが、浄化槽の汚泥処理は横ばいの状況となっている。市民の意見・要望は最近聞かれなくなっている。
調査対象でない施策は、市民の反応等	

⑥ 施策成果指標 (基本目標・基本施策・施策意図から設定)

成果指標	施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
			H22	H23	H24			H25	H28
し尿投入量	目標	トン	11,000	11,000	11,000	施設の必要性	H25	10,000	
	実績	トン	11,413	11,347	10,986		H28	8,500	
	達成率	%	96.4	96.9	100.1				
	ベンチマーク								
参考指標①	目標	m ³	9,000	9,000	9,000	処理効率・経費節減目安	H25	9,000	
	実績	m ³	9,788	9,247	8,927		H28	9,000	
	達成率	%	91.9	97.3	100.8				
	ベンチマーク								
参考指標②	目標						H25		
	実績						H28		
	達成率	%							
	ベンチマーク								
参考指標③	目標						H25		
	実績						H28		
	達成率	%							
	ベンチマーク								

⑦ 目標達成に必要な新規事業 (裏面 施策構成事務事業以外の事業) 及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
下水道課	公共下水道・合併処理浄化槽の早期整備	下水道の整備の普及状況により影響される
下水道課	下水道放流の実現	希釈度、水量などの許容検討

⑧ 施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い	
		判断理由 (なぜ、そのランクと評価したのか)	
1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか?	4	法令に基づき市が実施している。し尿及び浄化槽汚泥の収集業務は許可業者が行っており、搬入量については、生し尿と浄化槽汚泥であるが、支障の無いように処理できている。	
2 <事業構成の妥当性> 手段は最適か?	3	生活環境保全のための事業であり、事業構成は妥当である。	
3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	4	し尿投入量はほぼ目標値に達している。水道使用量については、平成17年度では、21,254m ³ であったが、経費削減に取り組んだ成果が現れ、大幅に減少している。今後も経費節減に努めていく。	
進行年度 (H25年度) の取組内容 (課題解決状況)		衛生センターは老朽化しており、更新時期が来ている。市民生活に支障をきたさないように、また、更新後のランニングコストや、年々減少と思われるし尿の処理に支障をきたさないように平成23年度で作成した「汚泥再生処理センター基本計画」に基づき、施設更新を推進している。	
翌年度 (H26年度) の取組目標		施設が老朽化している中で、施設更新に着手している。現有施設を稼働しながら、隣接地において施設更新することとしていることから、し尿等の搬入業者との整合を図る必要がある。更新施設は、吉永地域のし尿等についても、投入することとしていることから、和気赤磐し尿処理施設一部事務組合からの脱退に向けた調整が必要である。	
二次評価者コメント		老朽化が進み、施設更新が望まれている中、更新に着手している。関係部署との調整やし尿等の搬入業者と調和を図りながら進行管理をしてもらいたい。また、一部事務組合からの脱退に向けた調整をしてもらいたい。	基本施策への 貢献度 4 やや高い

施策構成事務事業の評価

No. 1

施策を構成する 事務事業	細 事 業	事業 分類	事業費等 (単位:千円, 人)										施策への 貢献度
			平成22年度			平成23年度			平成24年度			平成25年度 当初予算	
			直 接 事業費	人件費	人工数	直 接 事業費	人件費	人工数	直 接 事業費	人件費	人工数		
1	し尿処理施設維持管理事業	単市	40,840	25,330	3.09	32,843	28,072	3.31	29,704	24,823	3.08	26,582	☆☆☆☆☆
	岡山県し尿処理施設協議会事業	単市	0	106	0.01	0	107	0.01	0	106	0.01	0	☆
2	和気赤磐し尿処理施設一部事務組合負担金事業	単市	13,949	207	0.02	12,867	107	0.01	12,022	110	0.01	10,775	☆☆☆
3	し尿処理施設整備事業	補助				12,708	1,785	0.18	3,578	3,042	0.31	110,920	☆☆☆☆☆
この施策に費やした資源 (単位:千円, 人)			平成22年度			平成23年度			平成24年度			平成25年度	
			54,789	25,643	3.12	58,418	30,071	3.51	45,304	28,081	3.41	148,277	